



あまりを考える問題のとき方を教えて -



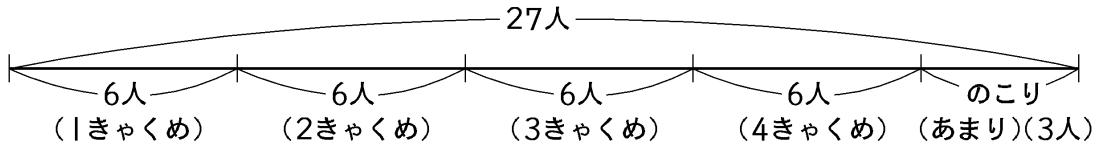
ぶんしょう 文章で書かれた問題をとくには、文章で書かれていることを図にかいてみればよくわかるよ。



下のような問題をといてみます。

27人の子どもが、長いす|きゃくに6人ずつすわっていきます。
みんなすわるには、長いすが何きゃくありますか。

図に表す → 27人を直線に表します。長いす|きゃくに6人がすわれるから、直線を6人ずつに切っていきます。のこった人数があまりの人数です。



上の図から、4つの長いすがいります。そして3人のこることがわかります。のこりの3人があまりの人数です。

とき方 → 27人を6でわればもとめられます。

式… $27 \div 6 = 4\text{あまり}3$ 4つの長いすがいって3人あまる。

*みんなすわるのですから、あまりの3人がすわるには、長いすがもう1つあります。

$4 + 1 = 5$ つ。27人みんながすわるには、長いすが5つあります。

答え…5つ